



毎日の中のささいな楽しみを、
みなさんにお届けするお便りです

心がホッとあたたまるようなことなど
家のことや暮らしのことはもちろん、日々のこと、
それからソラマドのことも♪綴っていきます

● 世界の中庭 モロッコのリヤド式庭園 ●

ソラマドを知って頂くきっかけの多くとなる「中庭」。
今月号では、昨年モロッコに渡航し見てきた、モロッコの中庭を少しご紹介します。

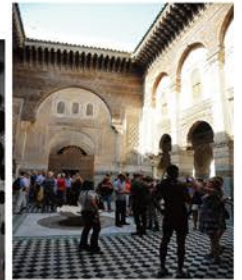
「リヤド」とは、モロッコの母語であるアラビア語で、「植物のある庭」を指す言葉。
モロッコでは、植栽やモザイクタイルで装飾された、中庭のある古い邸宅が多く残されています。
元々は、12世紀以後にイベリア半島から移住してきた有力者が建設した邸宅でしたが、
現在ではリノベーションされ、「リヤド」と呼ばれ宿泊施設として利用されています。

右上3枚の写真は、すべて、そうした宿泊施設。
いくつか規模の違うホテルや、ゲストハウスのリヤドを見学しましたが、
オーナーさんによる好みでそれぞれ個性があるのも面白かったです。

リヤドに設けられる中庭は、アフリカの強い日差しと砂埃から守ってくれる、まさにオアシス。
陽の光は植物に和らげられ、流れる水と美しいタイルで避暑の機能を果たします。
またゲストを迎える美しいインテリアは、美術館に身を置いているようでした。

人が集う場所としての役割も持つリヤドの中庭ですが、
間仕切りのない空間を、柱とカーテン、装飾品や植木でパーテーションしており、
開放的でありながら、プライバシーが確保される空間づくりが素敵でした。

モロッコの古い学校や、モスク(イスラム教の礼拝堂)でも、
噴水が中庭の中心にあり、人が集まれるような作りとなっていました。
まだまだ写真があるので、続きはブログで記事にしたいと思います。



ちょこっとモロッコ情報

リヤドを彩るモザイクタイル。
タイルのカット、ピースの配置まで
一つ一つ手作業で行われています。
手作業だから生まれる、
温かみが美しいものばかり。
実際に工場にも見学に行っ
てきたので、また別の機会に
記事にしようと思います。



忘れちゃいけないのがモロッコ料理の定番
「タジン」。タジン鍋で出されるタジンは衝撃
の美味しさでした。牛、鳥、もしくは野菜が入った
ものが選べました。

マジョレル庭園

中庭ではありませんが、素晴らしい庭園だったのでご紹介。
マラケシュにある、サンローランの別荘。
和を感じさせる竹林に鯉が優雅に泳ぐ池、
種々様々なサボテンやヤシ。
アフリカの陽を受けて豊かに茂る庭園を進むと、
コバルトブルーの邸宅が現れます。



● スタッフのつばやき ●



今月の担当: 齊藤

初めまして。
会社の管理関係(財務経理・総務その他全般)の業務を行っております齊藤と申します。
先日、実家の庭で柿を収穫していたのですが、そのうちの1本の木は私がライフデザインの前身である
オガワホームへ入社して間もなくのころに植えたものでした。
ここ1・2年でようやく沢山の果を実らせるような木に成長しました。
桃栗3年柿8年とはよくいったもので、私も当社へ入社して10年目に突入しようとしています。
父親が全国転勤だった為、戸籍上の出身は茨城なのですが、
生まれは広島→福岡→愛知→秋田→東京と過ごしてきました。
方言は、愛知の三河弁と秋田弁は現役です。
今年、ついに当社で自宅を建設することになりました。
趣味はサーフィンと左官(壁塗り)です。壁を塗らせてもらえるお宅を募集中です！